



坂本家住宅の外観



歴史的価値の高い建築が多数残る



「守る会」では世話人を中心に活動

## 地域の宝を守る大きなチャレンジ 坂本家住宅を次世代に残すために

南方の坂本家住宅を貴重な文化遺産として残していくため、有志が「坂本家住宅を守る会」を立ち上げ、保存・活用を進めています。同住宅は、敷地面積約379坪の豪邸。伝統的民家を専門に扱う建築士によると、江戸時代から明治時代までの建築が共存し、洋風の影響を受けずに和風を貫いている点が珍しく、歴史的価値が高いと評価されています。また、旧金毘羅街道（香川県の金刀比羅宮へ向かう参拝道）に面し、豪農・豪商で、酒造業や菜種油の製造販売まで手掛けて栄えるなど、地域の歴史との関連も注目されています。未だ解明されていないことが多く、「守る会」では、建築士会や史談会による調査研究を進めながら保存活動を展開。市民主導の挑戦に注目が集まっています。



昨年6月の見学会には50人以上が参加

## 老朽化から住宅を守るために クラウドファンディングをしています



▲大蔵の屋根の損傷状況

老朽化が進む住宅の修繕費用を集めるため、「守る会」ではクラウドファンディングを実施しています。最も深刻なのは大蔵の屋根の損傷。雨漏りが発生し、今の状態が続くと建物全体の維持が困難になります。これまで所有者が修繕費を負担されてきましたが、莫大な費用がかかり、負担は限界に達しています。寄附方法など詳しくは事務局までお問合せください。

## 「守る会」の一員として 一緒に活動しませんか



「守る会」の会員を募集しています。現在会員は44人で、そのうち世話人(写真上)を中心に調査研究、文化財登録、費用確保、イベント企画などの活動をしています。  
 ◇会員申込方法…氏名、住所、連絡先(電話番号又はメールアドレス)を事務局までご連絡ください。

☎坂本家住宅を守る会事務局☎961-1531/090-4337-3745  
 ✉sakamotoke.mamoru@gmail.com

坂本家住宅を守る会 HP  
 「坂本家住宅再生プロジェクト」



1



2



3



4



5



6



7



8



9



10



11



12

## ふるさとへの愛と未来への希望を胸に 地域とともに歩み、学校の伝統を紡ぐ

昨年度、上林小学校と拝志小学校が創立150周年、東谷小学校が創立120周年を迎え、地域の人を招いて記念式典が行われました。

上林小学校では昨年11月15日㊤に式典を行い、里神楽の披露や、法蓮寺住職の前園さんによる講演など、地域の文化や歴史に触れながら150周年を祝いました。拝志小学校では2月28日㊤に、マスコットキャラクター「ハイリン」を描いた記念碑をお披露目し、式典では、音楽発表や劇など、児童がこれまで練習してきた成果を一生懸命発揮したほか、PTA

主催の餅まきとお菓子まきで盛り上がりました。東谷小学校では3月15日㊤に、地域で作ったしめ縄龍が見守る中、改築を終えたばかりの真新しい体育館で式典を実施。式典後には、児童の「120周年おめでとう！」の掛け声とともに風船を空に飛ばしました。

各学校の式典では、地域の人と校歌を合唱し、一体感と懐かしさに包まれる場面も。児童たちはこれまで受け継がれてきた学校の伝統や地域のあたたかさをしっかりと受け止めながら、これからの伝統を紡ぐ一人として頼もしい姿を見せていました。



樹齢 340 年超えの桜の木開花に合わせて  
第 29 回源太桜まつり

3月29日㊤に土谷公民館で第29回源太桜祭りが開催され、うどんや三内米おにぎりの販売、じゃんけん大会、餅まきなどで盛り上がりました。主催のふるさと桜三里実行委員会会長の中島将<sup>すずむ</sup>さんは「土谷地区は、ほとんどが高齢者となり、一度は源太桜まつりを中断しましたが、地元企業に協賛いただき再開できました。この祭りが地域の活性化に繋がれば嬉しいです」と笑顔を見せていました。



地域の見守り隊に感謝を伝える集会  
登下校を見守ってくれてありがとう

3月16日㊤に北吉井小学校で、通学路の危険箇所<sup>すずむ</sup>に立って登下校を見守る見守り隊への感謝集会が行われました。この集会は、総合的な学習の時間の中で児童から「見守り隊に感謝を伝えたい」と声が上がったことをきっかけに、3年前から行われています。一緒にゲームをした後、合唱やお礼の手紙をプレゼントして交流を深め、笑顔溢れる時間を過ごしました。



みんなで作る春の味  
子どもたちが和菓子作りに挑戦

4月4日㊤に、志津川集会所で桜餅とぼた餅作りの体験を行いました。参加した子どもたちは、熱々の餅米を丸め、あんこを包み込む作業に苦戦しながらも、「難しかったけど、楽しかった」と笑顔を見せていました。使用した餅米は地域で育て収穫したもので、約12kgを使って作りました。子どもたちは、できたての和菓子を味わい、「おいしい!」と声を弾ませていました。



未来の移動を体験  
交通安全・次世代モビリティ体験訓練

3月4日㊤に市農林業者トレーニングセンターで、市老人クラブ会員を対象に、交通安全・次世代モビリティ体験訓練が開催されました。松山南警察署交通課職員から、県内高齢ドライバーの事故実例などの説明が行われた後、屋外のクランクや段差のあるコースで、ETPグループ協力のもと電動車いすを試乗しました。参加者は、体験を通して交通安全への意識を新たにしていました。



春空の下、熱戦を繰り広げる  
第14回東温スプリングカップ

3月28日㊤、29日㊤に、小学生のサッカー大会第14回東温スプリングカップが市総合公園多目的グラウンドで開催され、市内の「エルビス SA」、「重信キッカーズ」、「東温川上サッカー少年団」、「トレーフル FCaube」と、市外から8チームが参加しました。選手は、春の日差しの中、ボールを奪おうと競り合い、ピッチを駆け回りました。順位決定戦ではPK戦が行われ、勝利を決めたチームは仲間と喜び合っていました。

## 6団体 12人の団体・個人が受賞 文化芸術やスポーツの功績を讃える

3月16日(日)、令和7年度下期文化芸術栄誉章・きらめき東温大賞授与式が開催されました。受賞された皆さん、おめでとうございます。更なる活躍を期待しています。

文化芸術栄誉章（個人） ※敬称略

氏名	分野・成績など
福本沙恵	第40回「WE LOVE トンボ」 絵画コンクール 文部科学大臣賞
高畑柊介	

文化芸術栄誉章（団体）

氏名	分野・成績など
どぶろく工房・農家レストラン 由紀っ娘	第17回全国どぶろく研究大会 in 中能登町 どぶろくコンテスト 濃芳醇の部、淡麗の部 最優秀賞

きらめき東温大賞 文化芸術（個人）

氏名	分野・成績など
藤田結	第26回大阪国際音楽コンクール 声楽部門 Age-J 第2位
福本沙恵	第50回「ごはん・お米とわたし」 作文・図画県コンクール 図画部門 県知事賞
木匠想	第40回「WE LOVE トンボ」 絵画コンクール 金賞（トンボ学生服賞）
渡部笑未	第37回 読書感想画コンクール 指定読書の部 小学校低学年 最優秀賞
高須賀絆人	第37回 読書感想画コンクール 指定読書の部 小学校低学年 最優秀賞

きらめき東温大賞 スポーツ（個人）

氏名	分野・成績など
山内力毅	国際親善アマチュアキックボクシング・ 空手道選手権大会 上級クラス小学校6年 男子軽量級：40kg未満の部 優勝
井門賢之介 原田桂汰	第79回国民スポーツ大会 ソフトボール競技 少年男子 第3位
八田琴心	第24回全国障害者スポーツ大会 「わた SHIGA 輝く障スポ」ボウリング競技 少年女子の部 第2位
森実 昊	高円宮杯 JFA U-18 サッカー プリンスリーグ 2025 四国 優勝



きらめき東温大賞 文化芸術（団体）

氏名	分野・成績など
県立東温高等学校 国際理解研究部 【曾我部萌花、東蒼唯、平岡知也、 野村潤音、菅桜祐、宮本大地】	第44回四国高等学校国際教育生徒 研究発表大会 四国高等学校国際 教育研究協議会賞 最優秀賞

きらめき東温大賞 スポーツ（団体）

氏名	分野・成績など
西岡白寿会 【岡本学、岡本かず子、 山本美喜雄】	令和7年度県老人クラブ スポーツ大会 輪投げ競技 優勝
県立東温高等学校弓道部 【松浦美瑚都、夏井虹奈、 相原紅、有田歌乃、 勝田悠花】	第44回全国高等学校 弓道選抜大会 団体競技女子の部 第3位
県立東温高等学校 男子ソフトボール部 【高木凱司、大野来飛 川口彪雅、越智有馬 井門賢之介、船本烈風 辻川凌功、白石一颯、 門田珠生、近藤翔空】	令和7年度県高等学校 男子ソフトボール新人大会兼 第44回全国高等学校男子 ソフトボール選抜大会 県予選 優勝
北吉井ボンバーズ 【宇野遙希、渡部翔琉、 相原凌空、平田連、 坂川大智、西岡結人、 渡部大、宮田蒼生、 清水大暉、渡邊里玖斗、 武田華、富山葵大、 大工園和、渡部豪、 井上雄心、玉井李吹、 宇野結愛、川崎大夢】	愛媛新聞社杯・第34回 県ドッジボール大会 優勝



## 未来へ繋げる桜 茶堂公園で桜の植樹活動

3月26日(日)に、(株)伊藤園と(公財)日本さくらの会が取り組む、「わたしの街の未来の桜プロジェクト」の一環として、茶堂公園で桜の植樹活動が行われました。同社から市長に目録の進呈が行われた後、記念植樹が実施され、参加者は丁寧に根元へ土を被せていました。市長は、「植樹した桜が、次の世代の市民の皆さまに受け継がれていくことを願っています」と話していました。



## アート担当の新隊員が加入 地域おこし協力隊に新しい顔ぶれ

市外から移住し、地域活性化に取り組む地域おこし協力隊として、引き続き昨年度から委嘱された4人に加え、乾優希さん(写真中央)が新たに就任しました。乾さんは「移住前は東京で、演劇を使ったコミュニケーションのワークショップなどを開催していました。アートは敷居が高いと思われるかもしれませんが、敷居を下げられるような市民向けのイベントを開催していきたいです」と意気込みを語りました。

## 3社が本市の取組を後押し 企業版ふるさと納税で広がる支援

3月26日(日)に、(株)キノ(松山市)から市の工業団地造成事業に、企業版ふるさと納税として100万円の寄附をいただき、市役所本庁で感謝状を贈呈しました。また、(株)経営サポートプラスアルファ(東京都豊島区)から中小零細企業まると応援事業に、(株)KECAK(東京都千代田区)から部活動地域移行事業に、それぞれ寄附をいただきました。寄附金は、市の地方創生推進の取組に活用していきます。



## 東温と世界を結ぶ架け橋に JICA 青年海外協力隊として派遣

JICA 青年海外協力隊として海外に派遣される2人が、出発に先立ち、4月10日(金)に市長を表敬訪問しました。横河原でカフェ「駅と珈琲」を営む藤岡慶太さん(写真左)が東ティモールに、PCインストラクターとして働く渡邊裕也さん(写真右)がカンボジアに派遣され、2年間現地の人々とともに開発途上国の課題解決を目指します。ご活躍を応援しています。

